



特集

療養支援フロアのとりにくみ

- 療養支援フロアのとりにくみ ~西谷主任インタビュー
 - レクリエーションの視点 ~いまを大切に、楽しめることを
 - 大切にしている4つのケア ~食事・排泄・移動・レク活動
- 新年のご挨拶~岡山理事長より

▶介護老人保健施設の基本方針

介護老人保健施設の運営基準では「明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家庭との結び付きを重視した運営を行い…」と定義されています。当療養支援フロアでも「明るく家庭的な雰囲気」を大切に、利用者様に最適な自立支援の方法を追求しています。

「いま」を大切に 家庭的な介護をめざして

3階フロアは『療養支援フロア』として、長期の療養者を中心に日々のケアを行っています。今回は3階介護の西谷主任に、フロアのとりにくみについてお話しを伺いました。インタビューはリハビリテーション科の小松課長です。

大切にしたい生活感

小松 3階療養支援フロアの特徴について、まずはお話しただけませんか？

西谷 3階の利用者様は長期利用の方が中心となっています。

もちろん在宅復帰の方もおられるため、身体機能レベルには大きな差があるのが実際です。その中で家庭での生活感に近いケアを提供しようと考えています。



3階介護
西谷主任

小松 施設理念にもある「明るく家庭的な援助」にもつながっていますよね。ケアスタッフの皆さんが利用者様と楽しそうにされているのが印象的だったので、何か工夫されていることはありますか？

西谷 やはり生活感とか季節感ですね。季節にあった創作活動をとりにいたり、例えば先日の月食でも皆さんに声をかけて鑑賞会を実施したり…。その時節のニュースなどをアナウンスして、世間とかけ離れないようにしています。

1日の生活リズムを丁寧に

小松 Facebookではレクリエーションが充実していますが、工夫されていることは？

西谷 毎日午前中に体操をしています。皆様の中で定着していて、1日のリズムづくりにもなっていて、利用者様から「まだか？」と催促されることもあります（笑）。またレクリエーションが好きなスタッフが多くて、中心メンバーのアイデアも豊富です。スタッフ用の説明動画を撮影してみんなに配信したりもしています。

元気な様子を届けたい

小松 3階フロアで今後やりたいことはありますか？

西谷 現在はコロナで外出レクや家族面会が制限されています。コロナが明けたら早く再開したいですね。特に長期間ご入所されていると、身体機能が低下してくる場合もあります。日々のケアを大切に、スタッフみんなで話し合い、声かけあつて、様子や変化を家族に伝えられるように工夫していきたいと思っています。また、元気な様子はFacebookに随時掲載しているので、ぜひアクセスしてもらいたいです。

小松 楽しい動画もあるので一見の価値がありますね。



このひと時の活動を大切に

レクリエーションの視点

喜び方は無限大
身体と心の調和をめざすため、様々な工夫で、とりくみを行っています



レクリエーションでは身体と心を動かし、みなさんが楽しんでいただけるよう、各スタッフが工夫しています。時に笑い、時に真剣に。

右は自作のゲームの様子→
←左はミニけやき祭の様子



各種イベント

各スタッフで楽しめるイベントを企画。落語もしました(笑)



クラフト活動

手先をつかった手芸活動も人気。季節の掲示物も作成しています。



認知症予防

漢字パズルやカルタなど頭をつかう体操。スタッフが利用者様から教えてもらうことも…



身体活動

身体をつかったゲームをしています。勝負になると俄然やる気が湧いてきます！



毎日を気持ちよく
すっきり過ごそう

美味しくごはんを
食べられるように

- 排泄動作介助
- 定時誘導・観察
- オムツ選定・研修

排泄
支援

食事
支援

療養フロア4つの主要ケア

移動
支援

レク
活動



- 食事介助
- 誤嚥予防
- 口腔ケアなど



自分で動けることを
大切に！

笑顔が一番(^^)
心と身体を元気に

- 移動・移乗介助
- 歩行介助・見守り



- 機能維持改善
- 気分転換
- 対人交流など



ご家族からの誕生日
プレゼント開封をお手伝い。

老年期における活動性低下の要因は複合的です。心身機能が低下し、経済活動がなくなり、社会的な役割を見失いやすくなります。人はいつまでもよりよく生きたいと願っています。まだできることや生きる目的・楽しみを、日々の介護の中で見出し、利用者様の状況の応じた身体的・心理的サポートをめざしています。

療養支援フロアの生活支援 日常ケアを大切に

生活支援の視点

日常生活は24時間、様々な作業に追われます。時間、大切に追われるからこそ、大切にしたいことがあります。

岡山理事長 新年のあいさつ

明けましておめでとうございます。

昨年はロシアによるウクライナ進行、元首相の暗殺、急激な円安など激動の一年でした。それ以上にオミクロン株に変異したコロナウイルスの猛威にさらされた年でもありました。2020年から始まったコロナ騒動ですが最初の2年間は私どもの関連病院、施設ともクラスターは発生せず事なきを得ていましたが、2021年初頭から変異したオミクロン株で大きな影響を受けました。そしてその影響が今なお続いているのが現状です。利用者のご家族の皆様には多大なるご心配をおかけしたものと思います。ただ、感染力が強いものの重症化率や死亡率が低いのがせめてもの救いといえるでしょう。

世間ではエネルギー価格の高騰や諸物価の値上がりが庶民の生活に大きな影響を及ぼし始めています。世知辛い世の中になってきましたが、悪いことばかりではなくWカップでは日本チームの活躍など明るいニュースもありました。侍ジャパンが我々に夢と感動を与えてくれました。「禍福は糾える縄の如し」という諺どおりそう悪いことばかり続くものではありません。今年こそはきっといい年になると信じて新年の挨拶といたします。



2023年1月吉日

理事長 岡山好男



【新人スタッフ紹介】



療養部看護
河原畑久子

「河原畑」と書いて「カワラバタ」と読みます。覚えやすいよう短くしたりして呼んで頂いたらと思います。看護師の経験は長いのですが、施設での経験はほとんどなく、わからない事ばかりです。早く仕事に慣れ、皆様のお顔と名前を覚えたいと思っています。田舎育ちで昔ながらの年間行事などは人より知っている所があります。色々なお話ができるかと思っておりますので、気が向いた時にはお声かけ下さい。よろしくお祈りいたします。



療養部看護
村上春美

これまでケアマネジャーや病院の看護師をしていました。綾部市出身で小学生の頃から看護師になるのが夢でした。趣味はヨガと映画鑑賞です。利用者様に少しでも寄りそい、笑顔で楽しく生活が出来る様にお手伝いが出来ればと思っています。血液型はB型で、何でも一生懸命になる反面、周りが見えなくなる事があるので、スタッフとのコミュニケーションを大事にしていければと考えています。よろしくお祈りいたします。



療養部介護
中村早織

三姉妹の母であり、長女を出産してからは自宅でアロマセラピー教室をしながらカルチャーセンターなどでアロマ講師をしていました。子供達も保育園に通いだし、以前から興味があった介護の仕事がしたいと思い10月から働かせていただいております。介護は未経験でご迷惑をおかけすることもあると思いますが、一人一人の気持ちに寄り添い、少しでも役にたてるよう一生懸命がんばりますのでよろしくお祈りいたします。

日々の様子をFacebookで続々更新中です！是非ご覧ください！

👍いいね! 応援よろしくお願いします(^^) /



施設ホームページ



facebook